

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は幼い頃から音楽が好きで、中学・高校で吹奏楽部に所属していました。

音楽系に進むか全く別の進路にすることを悩んだ時期もありましたが、同志社女子大学のオープンキャンパスの定員レッスンを受け、講師の先生からたくさんアドバイスをいただき、大学でもっと音楽や、楽器について教わりたいと思い志望しました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強、実技試験対策の進め方について。 ※音楽学科入試課題については、『2021年度音楽学科入試課題』で必ずご確認ください。

[1学期]

音楽科ということもあり、定員試験も授業で学ぶので専攻実技以外は特別に勉強していません。学校の授業で十分習うので、授業をしっかり受けていました。

[夏休み]

夏休みの前半は部活に集中して、後半から本格的に受験勉強を始めました。

朝から学校へ行き練習をして、楽典やコーラス・ソングへの特別補習を受けたり、練習に平たい仲間と弾き合いをしました。また、集中力が切れないように、練習内容を午前・午後で変えたりと工夫していました。

[2学期～入試直前]

学校には朝・昼休み・放課後に定員の練習をしていました。試験曲の通し練習をしたり、それを録音し、音程確認や弱点を探し改善したりしていました。また、受験で定員が必要な仲間同士でも弾き合いをしたり、お互いに改善点を話し合いました。定員以外の楽典などは家に帰ってからやりました。4.5年分の過去問を解き、苦手な部分を中心に勉強しました。コーラス・ソングも友達と交互に歌い、アドバイスを言い合ったり、最初・フレードを見たり最後は歌え、覚えたりも練習しました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

部活も行事を優先して、隙間時間を使い、勉強する習慣も身に付けていたため本格的にやり始めた頃は同様に遅かったです。テレビやスマートフォンも受験生には必要ないと思ったり、使用時間を決めておくべきだったと思います。健康面ではお風呂遅くまで起きることで6時間以上の睡眠は取り取っていました。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験を終えて感じた事は、練習を自分自身でやる自信を持つことが大事だということです。

クラスメイトと同じ専攻がいて、自分のレベルが分かる。中々自信を持ってやれたので、

受験前に先生や友達に聴いてもらって、受験では自信を持って弾くことができました。

受験は一人で乗り越えたいと思っても、周りにいる仲間・先生や家族を頼って一緒に頑張ることも